

4月23日は本と花を贈り合う、サン・ジョルディの日 世界本の日、子ども読書の日。



© 2016 サン・ジョルディブック

サン・ジョルディフェスティバル名古屋2019

4月21日(日) 10:00~17:00

久屋大通庭園フラリエ内「クリスタルガーデン」(入場無料)

主催/サン・ジョルディ名古屋実行委員会
(愛知県書店商業組合、日本・カタルーニャ友好親善協会)、中日新聞社
後援/CBCテレビ、東海テレビ放送、メ〜テレ、中京テレビ放送、テレビ愛知、
CBCラジオ、東海ラジオ放送、@FM、ZIP-FM、Radio NEO
(株)トーハン、日本出版販売(株)、(株)中央社、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会
協賛/出版各社
協力/名古屋ビブリオバトルの会

「予定ステージイベント」(※観覧無料)変更になる場合がございます。

- ・絵本作家「長尾 琢磨さん」による自作絵本の読み聞かせ&サイン会(10:25~10:50)
- ・絵本作家「真珠まりこさん」による自作絵本の読み聞かせ&サイン会(11:00~12:45)
- ・ビブリオバトル inフラリエ(13:00~14:30)
- ・助産師「松川 恭子さん」による絵本読み聞かせ&サイン会(14:45~15:15)
- ・JRAC(JPIC読書アドバイザークラブ)による紙芝居&絵本読み聞かせ(15:25~16:25)



「コーナーイベント」(有料)

- ・本屋さんが選んだ子どもに読み聞かせたい絵本101冊の展示・販売
- 中古本、中古CD販売
- ビブリオバトル本の展示・販売
- フラワーアレンジメント体験コーナー(参加有料)
- JRAC(JPIC読者アドバイザークラブ)によるワークショップ



サン・ジョルディの日

(日本・カタルーニャ友好親善協会HPより)

親しい人に気持ちをこめて、本や花を贈り合うカタルーニャ伝統の日です。男性から女性に赤いバラ(花)を、女性から男性に本を贈ります。親子や友人同士でもプレゼントします。カタルーニャでは、この日は花の市や本の市が街にたち、人々は本やバラを買い求めます。特にバルセロナのランブラス通りでは、子どもや大人が行き交い、大変な賑わいで、まさに年に一度のお祭りとなります。



サン・ジョルディ[Sant Jordi]は、聖人の名前。中世からカタルーニャ地方の守護聖人として、地域の人々に親しまれてきた騎士の名前です。

サン・ジョルディは、架空の人物とも実在の人物とも、議論の分かれるところですが、トルコのカップドキアで4月23日に殉教したと言われています。

サン・ジョルディの伝説のひとつに、龍退治の話があります。ある国の王女が龍にとらえられ、いけにえにされる所をサン・ジョルディが現れて龍を退治して王女を救いました。その時にサン・ジョルディの剣の一刺しで龍の血が地面に流れ、そこに美しい赤いバラが咲いたという話です。

サン・ジョルディは、サン・ジョルジュ、セント・ジョージなどと発音を変えて、ヨーロッパ各地の守護聖人となっています。龍と戦う若き騎士、サン・ジョルディの話は、スペインのカトリック教徒がイスラム軍から国をとりもどす戦い、あるいは後になってカタルーニャの自治や言葉を禁止した独裁政治からカタルーニャの独立を求めて戦う精神と重なったためか、カタルーニャ地方では現在もサン・ジョルディ信仰は人々のアイデンティティーとなって深く根づいています。

花(特に赤いバラ)を贈るのは、サン・ジョルディ伝説の赤いバラが咲いた話によるもの。

カタルーニャでは、青い麦の穂をそえた一輪のバラが一般的です。

一方、本に関しては、サン・ジョルディの命日4月23日がスペインの文豪セルバンテスの命日と同じだったことから、本と花という組み合わせが始まりました。また、この日はシェイクスピアの命日にもあたります。

日本のサン・ジョルディの日のアイデンティティーとなって深く根づいています。

